

地軸

「胸中に成竹あり」との言葉がある。竹を描くには、竹の姿を思い浮かべてから筆をとればうまくいくという故事で、あら

かじめ十分に案を練って成功のめどが立っているとの意▲こちらは十分な検討ができていなかったのだろう。経団連が今年から、来春入社予定の大学生らの採用面接開始日を8月1日へと、4カ月遅くした就職活動の日程変更だ▲きのう採用内定が解禁された。当初から実効性が疑問視されたが、悪影響ばかりが目立つ。学生が学業に専念する時間を確保する目的だった。だが、経団連に加盟していない中小企業を中心に、早くから選考活動は始まっており、かえって就職活動の長期化を招くことになった▲大手企業の面接が始まると、県内中小からは「早くに内定を出したのに、辞退の連絡が相次いだ。人が足りない」との声が上がった。大手が盛大に内定式を開く一方、中小は採用予定数を下回り、内定式どころではないという。特に今年は学生の「売り手市場」で昨年よりも危機感が増している▲「経団連のルール変更で中小は採用に不安を感じている。だが学生はもっとつらい。へとへとに疲れている」。県中小企業家同友会の鎌田哲雄専務理事はこう指摘した。猫の目のように変わる制度に学生は振り回される▲経団連は日程を再び見直す方針を表明した。今度こそ、学生から社会人へのスムーズな道筋が描けるルールであってほしい。

2015.10.2